

両親が、私を愛してくれてくれる。いつも感じていきます。



Kiyoko Taniguchi
谷口キヨコさん

交換日記を通して個性を認め合うことを目指す。私はずっとこの体から体が大きくなって背の高さは40センチも伸びました。小学校5年生のときに始めた交換日記です。祖父がフランス人という同級生の女の子が、本当はフランス語で話せるのに、私たちの前では我慢して話さないでいる。彼女も私と同じように自分を隠していたのです。最初は、彼女一人だけ始めた交換日記

信をやる価値観を築いていく。私は今、この仕事をしていますが、自分の信念や価値観をしっかりと受けようとしていきます。私自身もそうありたい

プロフィール ●兵庫県出身。京都産業大学を卒業後、MC(司会)などの仕事を続け、タレント活動を始める。FM京都の番組「パーソナリティ」などで幅広く活躍。気さくで飾らない人柄、鋭切のトークが人気で、学生から子育て世代まで圧倒的な支持を得る。京都に関する旬の話題を豊富に取り入れた地域密着型の情報発信が魅力で、新聞や雑誌などに連載しているコラムも好評。リスナーから寄せられた悩みごとの相談などにも気さくに答え、良き「お姉さん」的存在でもある。今年4月から、AMラジオの「パーソナリティ」をつとめるなど、ますます活動領域とファン層を拡大している。

あしたのために

家庭教育新聞 FOR OUR FUTURE

発行：京都市教育委員会
（生涯学習部家庭教育支援担当）
京都市中京区寺町御池 ☎075-222-3590
http://www.edu.city.kyoto.jp/kateitiki

- ◆もくじ
- 2 【特集】
3 学校・家庭・地域でがっちりスクラム
ぼくたち、わたしたちの京都の教育
- 特別寄稿「京都の教育への期待」
堀場雅夫さん(株式会社堀場製作所 最高顧問)
- 全国から熱いまなざし
「京都の教育」独自の取組例
- 卒業生等からのメッセージ
- 4 みんなで楽しくウォーキング
「やわたの八幡さまを訪ねて男山へ」
- 読書大好き! 2
第39回 クロスワードパズル/インフォメーション/編集後記

「キヨビー」の愛称でテレビやラジオなどで活躍し、子どもからお父さんお母さん世代まで、幅広い年齢層から支持を受けている谷口キヨコさん。マイクを介して、自分の信念や価値観をもった人々たちを応援し続けています。今回は、幼少期のエピソード、ご両親から学んだことなど、ラジオでは聴けない谷口さんの本音を伺いました。

交換日記を通して個性を認め合うことを目指す。私はずっとこの体から体が大きくなって背の高さは40センチも伸びました。小学校5年生のときに始めた交換日記です。祖父がフランス人という同級生の女の子が、本当はフランス語で話せるのに、私たちの前では我慢して話さないでいる。彼女も私と同じように自分を隠していたのです。最初は、彼女一人だけ始めた交換日記

自信と誇りをもった子どもに接してほっこり。最近では、親子関係が「友だち化」しているといわれています。親に接する役割と尊敬も、子どもには必要です。そのとき、父は「何もしません」といって馬鹿にしたり、あなたとわが子の子じやない!と、さげすむような態度で接してきます。でも、私の両親は、子どもに接するときに、自分の自信と信念をもつて接してくれました。私のことを叱ったことなんてありません。

みんなで楽しくウォーキング

やわたの八幡さまを訪ねて男山へ
木津川・宇治川・桂川の合流地点に位置する八幡は、古くから奈良や京の都に通じる交通の要でした。今回はその八幡市を訪ね、男山を散策します。豊かな自然が残る森の中では、さまざまな野鳥を観察できます。

男山の「こもれびルート」を歩こう
京阪「八幡市」駅の改札を出ると、右側に男山ケーブルの乗り場があります。石清水八幡宮一の鳥居前を起点とする男山散策路「こもれびルート」を歩きます。鳥居前を右手に行くくと神応寺の山門。石段を登って釣りの鐘を左に曲がり、しばらく進むと視界が開けます。木漏れ日が差し込む森の中、倒木に注意しながら標識に従って上りましょう。小さな朱色の鳥居を曲がった奥が、八幡市最高峰(標高142.5m)の鳩ヶ峰山頂です。7月下旬で整備された道や展望台を過ぎ、長い階段を下りれば男山リクリエーションセンター。ここまで来れば、石清水八幡宮の境内までもう一息です。

石清水八幡宮から八幡八景の安居橋へ
男山山頂にある石清水八幡宮は、平安時代初期に創建され、源氏をはじめとする全国の武家に驚く信仰



- 所要時間：約1.5時間
(休憩や見学時間を含まず)
距離：約3キロ
- 京阪「八幡市」駅
 - 石清水八幡宮一の鳥居
 - 神応寺(しんのうじ)
 - 鳩ヶ峰山頂
 - 男山リクリエーションセンター
 - エジソン記念碑
 - 石清水八幡宮(いしづきやまひんぐう)
 - 石清水社
 - 高良神社(たからのみや)
 - 安居橋(あんごはし)
 - 京阪「八幡市」駅

第39回 クロスワードパズル

ヨコのカギ
タテのカギ

1		2		3	
	A		4	5	
6				8	9
	B				
		10	11		
				13	
			14		
A	B	C	D	E	F

第166号の解答
正解者の中から抽選で30人の方に「図書券1000円分」...
●第39回クロスワードパズルの当選発表は次回に掲載
締め切り日：9月26日(月)当日消印有効

インフォメーション

◆ゲームを通して子どもと向き合う ◆掌の温かさで親子のつながりを感じ合う ◆気軽にみんなで語り合う
親子のほっとタイム
参加無料

読書大好き! ②

市立学校では、子どもたちが本に親しみ、読書好きになるよう、さまざまな取組を実施しています。全小中学校での朝読書や、学校図書室の充実、司書教諭の配置などの他、各校で創意工夫をこらした特色ある活動を行っています。今回はその中から南大内小学校での取組を紹介します。

熱気あふれる「選書会」
南大内小では、6月11日の土曜日に、子どもたちに豊かな読書体験をしてみようという、子どもや保護者、教員に地域の方々も加わり、約90人が参加して「みやこ子ども読書塾」の一環として「選書会」が行われました。本屋さんの協力で図書館に500冊あまりの本が並べられ、子どもたちは渡された5枚のしおりを「図書室にあればいいな」と思う本にははさしていきます。たくさんしおりのはさまれた本の中から実際に図書室に入れる本が選ばれます。中には選書は二の次、つい手に取った本に夢中になって読み違う、時間が過ぎるのを忘れる子どももいました。親子で選んだり、学年の違う子ども同士と一緒に選んだり、一生懸命本を選ぶ姿が見られました。

家庭・地域とともに育む「読書大好き子」

この選書会では、図書委員の子どもたちによる紙芝居や教員による大型絵本の読み聞かせのほか、昨年度発足したPTA有志の方々による読書ボランティアサークル「お話 ぼちぼちの会」によるパネルシアターも行われました。パネルシアターは、材料集めから制作に至るまでメンバーによる手作りです。そのための勉強会ももたらしたということです。子どもたちは目を輝かせ、その話に入っていました。「お話 ぼちぼちの会」のメンバーは、選書会での活動の他、毎週水曜日に図書室で読み聞かせをしたり、図書委員の子どもたちと一緒に図書室の整理や、担当の先生と新しく買った本へのラベル貼りをしたりしています。メンバーは、子どもたちの読書離れが叫ばれる中、どうすれば学校の図書室が今より利用され、子どもが本好きになるか考えながら、さまざまな活動を行っています。